

DATA Mashup for MI × BI

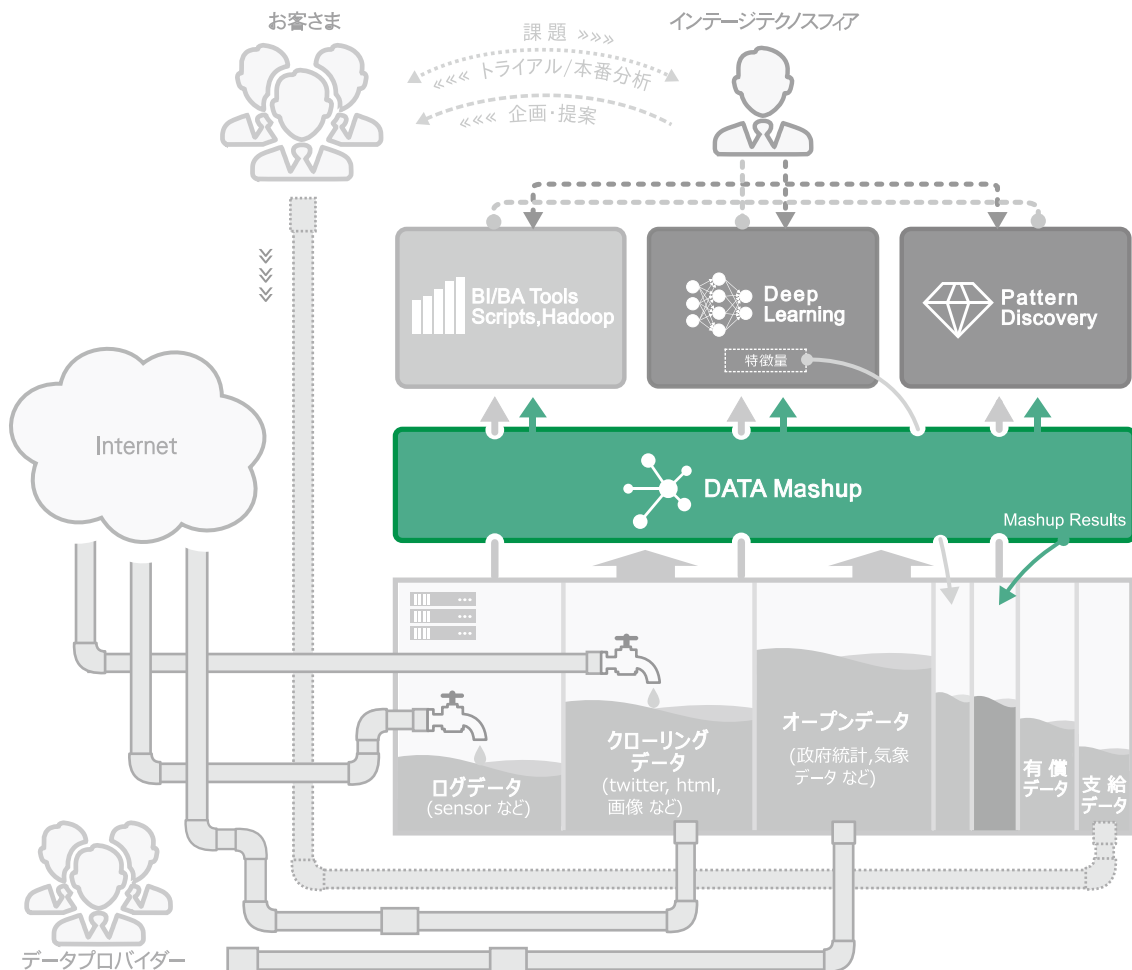
世の中に存在する多種多様なデータを
貴方のビジネスに「使える」データに。
データ活用のためのデータプロセッシング基盤

政府統計や気象データなどのオープンデータ、インターネット経由で刻々とクロールされるソーシャルデータやログデータ。個々のビジネス特有のデータなど、着目すべきデータは日々膨大化しています。オープンソース化が進んでも、まだまだそれらのデータ粒度は多種多様な状態です。

いち早く分析し、課題解決に向けた意思決定を進める為の各種ツールをより効率よく稼働させるためには、これらのデータを統合し、「使える」データに作成し直すマッシュアップテクノロジーを欠かすことはできません。

業界屈指のデータハンドリングとマーケティング分析を誇るインテージグループならではのノウハウと経験を活かしたデータマッシュアップ技術でビッグデータを BI (ビジネス・インテリジェンス)に、そして MI (マーケティング・インテリジェンス)に「使える」データとして活用しませんか？

次世代データ活用プラットフォームにおけるデータマッシュアップの位置づけ

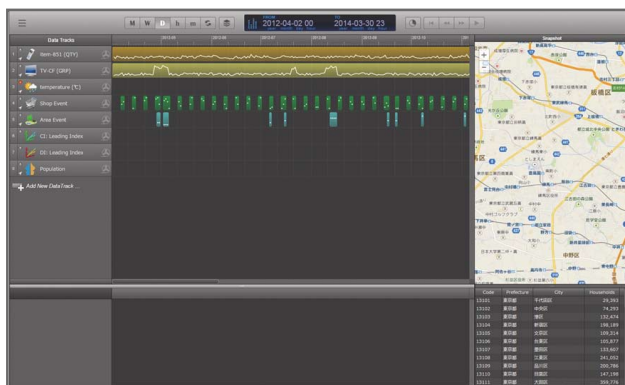


データマッシュアップの特徴

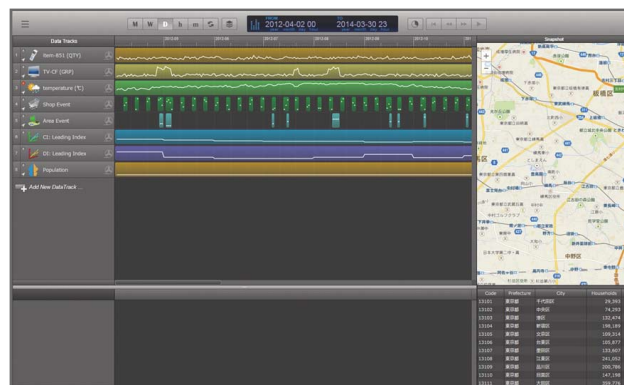
時空間データ統合

巷にあふれるオープンデータを積極的に活用したくても、ソースオリジンが異なる複数のデータ同士は、統合活用しようとする際に必ずと言ってよいほど、「同一の結合キーが存在しない」という問題に直面します。

データ活用プラットフォーム上で、粒度の異なる膨大なデータも、アナリストが分析しやすい状態までストレスなく揃え整理されます。Mashup機能により、蓄積された統計データに内在する時間軸と空間軸属性を元に、ばらばらな状態のデータを揃え統合します。



データを取り込んだ直後の状態

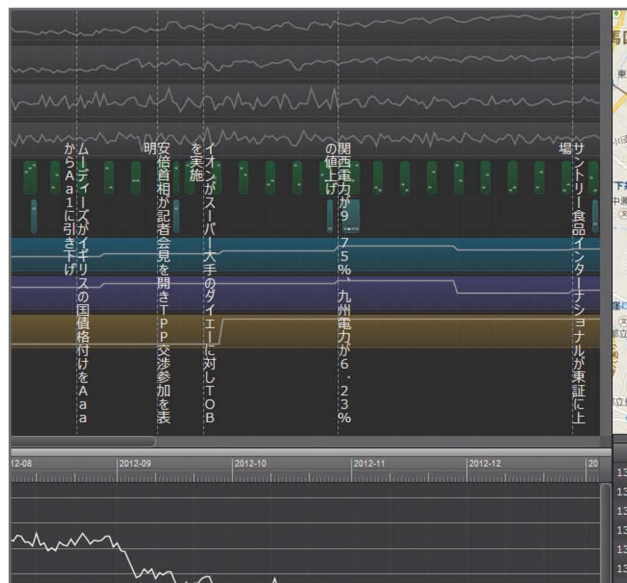
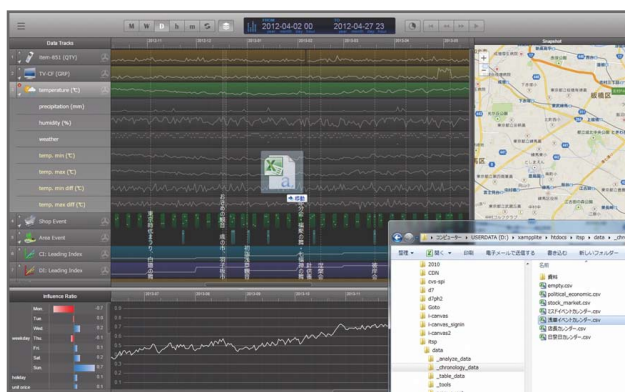


データの時間軸と空間軸が揃った状態

イベントとデータを視覚的にチェックして「気付き」を引き出す

Mashup機能により統合され同じ土台上に並列配置された複数のデータの上に、Client機能を用いることで時事情報や自社で実行したプロモーションなどのイベント情報を重ね合わせて表示できます。

データと同時期に発生したイベント情報との関係性を視覚的にチェックすることができます。カレンダー情報と各種データをグラフィカルに俯瞰することで、分析時に様々な角度から「気付き」を引き出すことが可能となります。



株式会社インテージテクノスフィア

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 インテージ秋葉原ビル

Eメール: itsp-inc@intage.co.jp

www.intage-technosphere.co.jp

Copyright© INTAGE TECHNOSPHERE Inc. All Rights Reserved.

ITSP_INC_001_1610